

上田城・城灯りの景

今年で6回目を迎える上田城千本桜まつりに併せ、4月11日(土)、新生上田市発足三周年記念事業の一環として、「上田城城灯りの景」が初めて開催された。

城灯りの景はもとも、大阪城で毎年開催されているイベントだが、今回上田城でも開催することになった。上田城と大阪城とは、平成18年に戦国武将・真田幸村を縁に友好城郭を提携し、毎年、記念イベントを実施してきた。今回のイベントでは、「人と人と心を結ぶ」をテーマに、市民ボランティアの協力もあり、

夢や願いなどが書かれた8千個の行灯に火が灯された。メイン会場となった上田城跡公園野球場では、夜7時から点灯式を開始。その後、揺らめく灯りの中、パイオリンとピアノによるミニライブなどが開催され、5千人の観衆は、幻想的な夜桜と灯りと音楽の世界に魅了された。

この他、市役所前の大手町通りでも、行灯1600個を設置し、通りを行き交う人々は郷愁を誘う灯りに導かれ、夜の上田城千本桜を楽しむ機会となった。



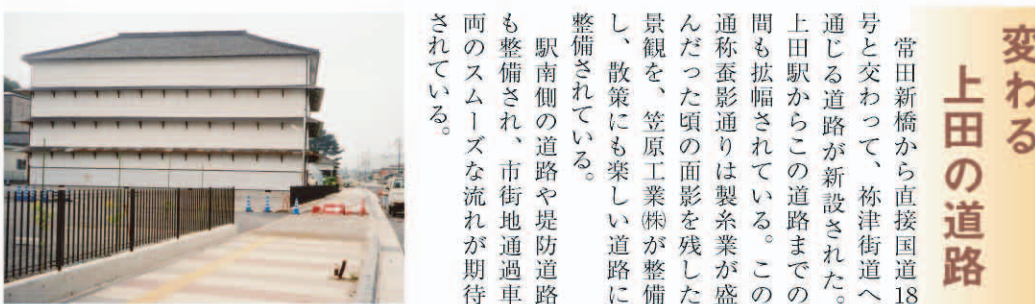
上田電鉄別所線では画家原田泰治さんがデザインしたラッピング車両「自然と友だち」1号・2号の運行を平成20年10月と12月にあいついで始めた。1編成2両に花や昆虫をあしらったデザインで田園地帯に溶け込むようなメルヘンチックな車両は観光客にも好評だ。

この事業は国の「地域公共交通活性化・再生総合事業費補助」



別所線 原田泰治さんデザインのラッピング車両走る

を受け、新生上田市発足三周年の記念事業として行われ、「原田泰治の世界展IN上田」も上田創造館で開かれた。写真は田植後の塩田平を走るラッピング車両1号。



変わる 上田の道路

常田新橋から直接国道18号と交わって、称津街道へ通じる道路が新設された。上田駅からこの道路までの間も拡幅されている。この通称番影通りは製糸業が盛んだった頃の面影を残した景観を、笠原工業㈱が整備し、散策にも楽しい道路に整備されている。

駅南側の道路や堤防道路も整備され、市街地通過車両のスムーズな流れが期待されている。

110周年記念事業 母校へ空調設備を設置し寄贈

6月4日(木)に同窓会と創立百周年記念事業実行委員会は、母校創立百周年の一環として、母校へ空調設備を寄贈した。

設置場所は、普通教室・視聴覚室・定時制棟など30教室である。

近年、母校では教室内の高温化が進み、かねてより空調設備の導入が待たれていた。

同窓会は、母校の教育環境を改善するために、学校・PTAとも相談の上、記念事業を一年繰り上げて実施した。

そこには手動の簡単な操作器が展示されていて、レポートに書かれていた生糸を均一に巻き取る「ジグザグの方法」を体験することができた。

また、報告書を読むと、上田を非常に高く評価していたことがうかがえ、「蚕都上田」を改めて実感した。

歴史って面白い。そんな気持ちも少しでも多くの人と共有できればいいな、そう思う。



この空調設備は、都市ガスを使ったGHP(ガスヒートポンプ)で環境負荷を低減し、ランニングコストも低減させた冷房・暖房設備である。

環境にやさしい・クリーンなエネルギー

上田ガス株式会社
www.uedagas.co.jp

69期同窓会にご参加を!!

[会長] 青木茂人(2組)
[平成21年度会員大会実行委員長] 羽田富雄(2組)
[各クラス代表]
上原榮治、外村充弘(1組)
下崎勝美、中沢 稔(2組)
竹原基好、田中 稔(3組)
坪田秀彦、木曾泰子(4組)
高田 忍、齊藤弘幸(5組)
市川 泉、田中 寿(6組)
武田幸一、小林 潔(7組)
杉浦英夫、田中洋一(8組)

あの頃は、君も、アナタも、俺も... みんな 若かった! あの頃の歌を一緒に歌おう!

☆「69期同期会」を総会(会員大会)詳細本誌別掲に併せ、同日同会場で開催します。
☆69期は今回、会員大会実行委員の最終当番ならびに実行委員長職の大役を務めます。

— 各方面から声をかけますので、是非ご参加してください。 —

郷土班 アダムズの報告書を翻訳

郷土班では、1869年に上田を訪れたイギリス公使館員アダムズが本国へ提出した報告書を翻訳し、当時の上田周辺の蚕糸業について研究している。

研究を進めていく上で困難だったのは翻訳だった。今ではほとんど使われていない英語や専門用語が多く、皆で考えても分からないことが沢山あった。そんな時私たちが助けてくれたのは見学である。

実際に使用されていた機械を見たり、現在も蚕糸業に携わっている方の話を聞くことにより、疑問が解決し、報告書の内容を身近に感じることができた。見学から学んだことは、一つや二つではなかった。そのうちのひとつが、「Hair」である。直訳で、「髪の毛の輪」であるが、これが糸の巻き取り機械に使われているという。はじめに翻訳した時は、まさか髪の毛が使わ



るはずがない、と思った。しかし岡谷の蚕糸博物館に行き機械を見てみると、本当に髪の毛が使われていることが分かり、レポートの内容を確認することができた。さらに

上田高校から 世界へ

二年生の林美月さんが米国ユタ州で開催される、ユース世界選手権大会にアーチェリー競技で出場しました。林さんは、小学校四年生の時に、スポーツ少年団に入団し競技を始めました。上田高校入学後は、県高校総体個人で優勝し、全国総体に出場。今年3月の選抜大会では9位、ユース最終選考会では2位となり世界への切符を手に入れました。

ユース世界選手権は、来年のジュニアオリンピックの選考会も兼ねているので、さらに世界に羽ばたいて欲しいと願っております。先輩の皆さんから、上田駅前ビルに掲げる懸垂幕を頂戴いたしました。心より御礼申し上げます。

アーチェリー同好会顧問 矢島淳子

74期 今年はおれわれが当番です。 会員大会(9/12)で会いましょう。

74期代議員

| | |
|----------------|----------------|
| 1組 千野 敏幸 | 5組 丸山 良雄 |
| 2組 大田 一昭・橋原 明子 | 6組 山木 徹也 |
| 3組 古畑 定・土屋 信之 | 7組 深町 文雄・小田切洋子 |
| 4組 石塚 博敏・関戸 啓司 | 8組 宮下 繁明 |

74期理事
6組 木村 文厚

同窓会のバックボーン 金子八郎さんご逝去

同窓会顧問・元理事長・元長野県経営者協会副会長・シナノケンシ会長の金子八郎さん(39期)が平成21年3月15日不慮の故とされた。

昭和58年から平成7年まで4期12年間にわたり理事長を務められ、特に創立百周年には、記念事業実行委員長として募金活動の先頭に立ち記念式典をはじめ、同窓会館の改装や各種イベントを成功させた。

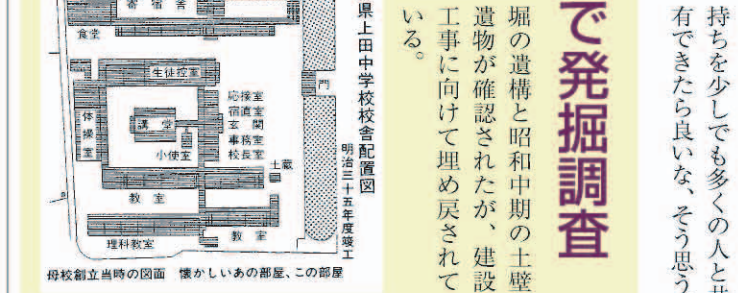
他方、義務教育から大学教育まで教育問題に造詣が深く、各種教育機関の要職を務められ、企業人としても長野県テクノ財団の理事長、会長などを歴任し、東信地域は言うに及ばず県内産業の発展に大きな足跡を残された。

ここに生前の偉大な功績を偲び、謹んで哀悼の意を捧げるものである。

母校敷地内で発掘調査

校地内の南東隅にあった古い合宿所建物を改築する運びとなった。新合宿所は、建物は県費で建設し、付帯設備・備品は同窓会が寄付して年度内完成をめざしている。

新しい合宿所建設のため取り壊された古い建物跡地を上田市教育委員会が発掘調査を実施した。その結果、中学開校時代のものと思われる



長野県上田中学校校舎配置図 明治十五年年度竣工

母校創立当時の図面 懐かしいあの部屋、この部屋

